

ハーモニー

No.
94

令和5年1月16日

迎春

白鷹町大字鮎貝3994番地7 TEL 85-2342 / FAX 85-2341

三年ぶりに新春懇談会を開催

地区の飛躍（ジャンプアップ）を誓いました

1月8日、まちづくり協議会主催による三年ぶりの新春懇談会に56名の出席をいただいて開催することができました。

はじめに井上善晴会長が挨拶を述べ、佐藤誠七町長、関千鶴子地区議員団長から祝辞をいただいた後、白鷹若柳会の会員4名による太鼓や日本舞踊などの新春にふさわしく華のある演奏や踊りを披露していたできました。

コロナ感染の心配もあることから、案内者を絞らせていただき、アルコールも控えての開催となりましたが、久しぶりに顔を合わせたという方も多く、心引き締まる年頭の顔合わせとなりました。



年頭のあいさつ

鮎貝地区まちづくり協議会

会長 井上善晴



新年あけましておめでとうございます。皆様には、お健やかに良い年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

さて、昨年も新型コロナウイルス感染症の災禍に見舞われ、計り知れない大きな影響を受け、当初計画していた地域づくりのための様々な行事やイベント等が縮小、中止を余儀なくされました。

白鷹町内では五回目のワクチン接種が行われるなど、国、県、町を挙げての対策が進んではおりますが、感染者数が減少してきたとは言えない状況にあります。また、新たなウイルスの感染症も出てきております。私たち一人ひとりが意識を高め、感染予防、拡大防止に努めることが何よりも大切だと思います。

鮎貝地区まちづくり協議会は今年の三月で八年となります。昨年度からスタートした第三期鮎貝地域づくり四カ年計画の前期二年が終わろうとしておりますが、これまで、くらし部会、まなび部会、まちおこし部会の三つの専門部会それぞれが部会長を中心に協力し合いながら積極的に事業に取り組んできていただきました。

くらし部会では、昨年度は避難所運営計画書を策定し、関係団体との共有を図るための取り組みを行

い、また今年度は、鮎貝地区の安全マップを作成し全戸に配布するなど、これまでの継続事業に加えて新たな事業にも取り組みました。

まなび部会では、歴史講座やウォーキング、スマホ・パソコンの使い方相談会などを開催しました。

まちおこし部会では、ご当地ソングの制作、YouTubeによる鮎貝の情報発信、規模を縮小しての初めてのあゆかい秋の味覚まつりの開催など、それぞれの部会で知恵を出し合い地域づくりに向けて取り組んでいただいております。

皆々様に大変ご不便をお掛けしておりましたコミュニケーションセンターの大規模改修工事も九月に完成し、新たに、地域づくりの拠点施設として、また災害時の避難所として整備されました。

今年は無歳であります。癸卯（みずのとう）で「癸」は、水が大地を潤し、すうーと引く状況をあらわしていると言われ、また「卯」は兎のジャンプ力から、飛躍の年とも言われているそうです。

将来へしつかり備える年でもあり、鮎貝地区の地域づくりの基盤として、伝統文化の継承、人材・次代を担う子どもたちの育成が極めて大事です。今後とも、地域づくりに向けて、皆様のご協力を賜りながら運営してまいります。

結びに、新しい年が活力にあふれ、鮎貝地区の皆様のご健康とご多幸を心よりご祈念申し上げます、新年のご挨拶と致します。



ふるさと塾 立派な門松が出来ました

今年度初めてのふるさと塾「親子でミニ門松づくり」を12月25日に開催しました。今年も山口の金子孝吉氏に、竹の加工から稲穂飾りやしめ飾りまで準備して頂き、当日の講師も務めていただきました。親子で力を合わせて作った門松は、どれも見事な出来栄で皆さん大満足の様子でした。また、ハーモニープラザにも金子さんより1メートル80センチにもなる、立派な門松をいただき新しい年を迎える事ができました。



手際よく

おせち料理を作りました

お正月には欠かせない「おせち料理」のレパートリーを増やそうと、12名の方が教室に参加されました。

今年も町教育委員会の栄養士木口祐里係長に講師をお願いし、ぶりの南蛮漬け、錦なます、紅白かまぼこの飾り切り、りんごきんとん、鯉の旨煮の他、鶏ひき肉にネギのみじん切りと調味料を加えて練ったものを、油揚げに巻いてその他の具材と一緒に煮た、一味違う煮しめを教えていただきました。

参加者の皆さんは、班ごと協力しながら手際よく調理を進め、家に持ち帰って家族にご馳走するのを楽しみにしながら彩り良く重箱に詰めていました。



手作りみそ教室のご案内

安全で安心な美味しいみそを作りましょう。参加者全員で協力して仕込みますので、初めての方でも大丈夫です。是非ご参加ください。

◇日時 2月21日(火)

午後1時30分より

◇場所 ハーモニープラザ

◇持ち物 煮た豆、塩、仕込み桶

◇翹代 米持参(1升) 400円

米なし(1升) 1200円

◇申込み 1月26日までハーモニープラザにお申込みください。

(米持参の方は米も26日まで届けてください。)

◇目安 豆3升、翹3升で約15kgの味噌ができます。

菜の花学級からのご案内

3月上旬に、白鷹高等専修学校の講師を務めておられる黒澤和子さんから、手ぬぐいを縫い合わせて作る「あづま袋」のつくり方を教わる予定です。

詳しくは2月号の会報でご案内致しますのでぜひご参加ください。

『地域づくり推進交付金』

今年度は7事業に活用致しました

「地域づくり推進交付金」制度は、各地区の経営主体（当地区は鮎貝地区まちづくり協議会）が取り組んでいる地域づくり事業を補完したり、地区の方々からの様々な要望に対応するための資金として設けられた制度です。

当協議会には毎年180万円を超える交付枠が配分されています。

それを受けて当協議会では、三役会や理事会でその活用方法などについて充分検討したうえで、今年度も各町内等から出されている要望等に対応するために使わせていただきましたので、その事業内容などの概要をご報告致します。

尚、来年度以降もこの制度が継続されると思われれますので、3人以上の団体であれば申請可能です。活用したい方は、区長や町内長、又はハーモニープラザにお気軽にご相談ください。

実施団体.. 鮎貝11町内

◆事業内容

森合町内で行っている山神社の祭礼やお盆の納涼まつりをはじめ、様々なイベントで使用してきた組み立て式テントが老朽化により使用が難しくなっていたため、会場準備にあたる方々の労力軽減と効率化、内容の充実を図るためワンタッチテント2張りを購入しました。

◆事業費 310,200円



ワンタッチテントを使ったイベントの再開が待たれます

実施団体.. 鮎貝区

◆事業内容

白山森の夫婦観音に訪れる参拝客の中には、ご高齢の方や脚が不自由な方もおられ、階段を上らずに、夫婦観音の裏まで車で行って参拝する方が増えていくことから、安全に安心して駐車できるスペースを確保するための整備工事を行いました。

◆事業費 330,000円



広くなった駐車スペースには碎石も敷設され、安心して参拝することができるようになりました

実施団体.. 鮎貝12町内

◆事業内容

箕和田町内では、昭和42年の羽越水害時を思い出させるような近年の異常気象による豪雨に備え、県道沿いの高台にあるさくら広場を一時的避難場所として位置付け、また、町内の様々なイベント等を開催する場所としても活用できる多目的広場として整備工事を行いました。

◆事業費 143,000円



歴史ウォーキングで立ち寄ったさくら広場

実施団体..高岡区

◆事業内容1

高岡公民館前に樹齢100年を超える銀杏の木が2本あり、その枝が伸びすぎて、風折れや積もった雪が公民館に出入りする人に落ちて怪我をさせてしまう恐れがあるため、枝の剪定を行いました。

また、地区内を流れる水路に除雪した雪が入って水が溢れることがないように、鉄筋を加工した枠を2箇所設置しました。

◆事業費 298,100円



横に長く張り出した枝も剪定され、公民館前がすっきりしました



◆事業内容2

建立されて270数年という歴史のある高岡観音堂の外床の木部が経年劣化により腐食し始めているため、防腐・防虫剤入りの塗料を塗布する工事を行いました。

◆事業費 272,000円



歴史のある建造物を後世に残すため、維持管理することも大切です

実施団体..深山区

◆事業内容1

深山区で管理している施設の内、特に資材倉庫と水車小屋の雪下ろしが大変で危険が伴うため、屋根に雪が割れるようにトタンを嵩上げする工事を行いました。

◆事業費 260,260円



◆事業内容2

国の重要文化財に指定されている深山観音堂を災害から守るため、自衛消防団を組織して活動されていますが、団員が着用している法被が経年劣化等によりボロボロになってきているものもあるため、この度、新しい法被を17着揃えました。

◆事業費 520,712円



以上で令和4年度の地域づくり推進交付金を活用した事業の報告とさせていただきます。

令和5年度分で皆さんの地域を明るく元気にする事業などにぜひ活用してください。

3月末までにご相談ください。

鮎つ子 通信

鮎つ子の体力・運動能力に「黄信号」

鮎貝小学校長 丸川 和久

本年も、どうぞよろしくお願い申し上げます。

令和五年は、十二支でいうところの卯（ウサギ）年にあたります。

諸説ありますが、「卯」は穏やかなウサギの様子から安全、温和の意味があるそうです。また、ウサギのように跳ね上がるといふ意味があり、卯年は何かを始めるのに縁起がよく、希望にあふれ、回復、好転する年と言われているそうです。コロナ禍、紛争、物価高…何かと暗い話題を耳にする昨今ですが、卯年に込められたこのような明るい兆しに期待したいものです。

さて、今年度に入り、本校の新たな課題として「体力・運動能力の低下」が顕著になってきました。

体力・運動能力の低下については、コロナ禍の影響により、全国的に危惧されてきた課題ですが、本校では、これまでさほど話題に挙がりませんでした。しかし、今年度実施したスポーツテストでは、全国平均を下回る種目が激増し、特に、走力（五十メートル走）については、一年女子以外は全て全国平均以下という結果となりました。併せて、学校敷地内にある坂道や斜面での転倒による怪我が増加し、体を支える機能の低下が見てとれる状況にもありました。家庭生活においては、ゲームや動画視聴等メディアに触れる時間が長くなり、インドア的な過ごし方が増えている傾向にあります。

このような実態を踏まえ、本校では、体育の時間での運動量の確保や教育の森を活用しての森走の実施、休み時間での外遊びの奨励等を行いながら、体力・運動能力の向上に努めてきました。

冬場は、特に運動不足になりがちです。このような課題解決に向け、学校、家庭、地域総ぐるみで、運動、外遊び、除雪作業等、意識して身体を動かすことについて、皆様からの御理解、御協力をお願いいたします。



年末大掃除へのご協力

ありがとうございます

ハーモニープラザの利用団体の方々と協議会の理事、40名にご協力いただき、12月11日ハーモニープラザの大掃除を行いました。

お陰様で、施設内外の隅々まできれいにしていただくことができました。お忙しい中ご協力いただき本当にありがとうございました。



～駐在所からのお知らせ～

- ① スピードは、夏場より10キロ以上減速する。
- ② 車間距離は、路面乾燥時の2倍以上とする。
- ③ 急加速、急ブレーキ、急ハンドル等の急激な操作を避ける。
- ④ 視界不良時は、前方をよく見て早めに徐行する。
- ⑤ 危険がいっぱい。追い越しはしない。



白鷹西駐在所 後藤 巡査部長

冬道の安全運転5則